



日本トリムが本領を発揮する、 メディカルカンパニーとしての実力

株式会社 日本トリム 代表取締役 **森澤 紳勝** 氏
(もりさわ・しんかつ)

株式会社 日本トリムは、「快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する」を企業理念に、ウォーターヘルスケア事業を軸とした展開で飛躍的成長を続けている。日本トリム代表取締役・森澤紳勝氏に今後の展望を伺った。

今年10月、日本トリムは19年3月期通期の連結業績予想を上方修正した。胃腸症状の改善が認められた電解水素水整水器『トリムイオンGRACE』の販売好調に伴い、当社の軸となる「ウォーターヘルスケア事業」の営業利益が前年同期比の32.1%増、これにより、通期の予想営業利益を前回予想より大幅に引き上げることとなった。

「水を選ぶ時代」の常識。 管理医療機器としての整水器

昨年の発売以降、日本トリムのウォーターヘルスケア事業を牽引する『トリムイオンGRACE』は、従来の電解槽に加え、透析現場で活躍する高濃度の水素を生成できる個体高分子膜電解槽を搭載した電解水素水整水器だ。森澤氏はこのような好調下にありながら、日本トリムの印象を改めたいと語る。「弊社は家電メーカーと思われがちだが、我々の製品は厚生省所管の管理医療機器であり、本来はメディカルカンパニーだ。我々の電解水素水は疾病予防や健康増進に貢献できるというエビデンスが数多くある。これは整水器の飛躍的普及に向け、大きな後押しとなるものだ。今後も産学官と共同研究し、エビデンス取得に更に注力していく考えだ」。

メディカルカンパニーとして注力する 再生医療と国産細胞医療品の実現

電解水素水のエビデンス強化には、国立研究開発法人理化学研究所との共同研究が始まっており、一方、大学研究機関との共同研究も活発だ。「年内には、糖尿病と我々の電解水素水飲用に関する、東北大学との共同論文の投稿が予定されている。次いで東京大学との共同研究では、かねてより我々が主張してきたデータの裏付けを得た。これは従来の水素の概念に大きなインパクトを与える驚くべき結果だ。さらに日本トリムグループの〈ステムセル研究所〉の成長も目覚ましい。当研究所は、国内最大の民間さい帯血バンクとして、現在国内の99%の専有率を占めている。同じくトリムグループの〈ヒューマンライフコード〉では、国産のさい帯やヒト細胞由来の創薬の研究を、東京大学や関西医科大学と進めている。これまで医療廃棄物として扱われてきたさい帯や胎盤を活用する研究だ。実現すれば低コストの医療開発も可能になり、社会的な意義も高い。森澤氏が語る医療分野での展望は、管理医療機器の整水器のみならず、今後バイオベンチャーとしても成長する日本トリムを予見させる。

中国初の日本式病院、 慢性期疾患治療病院の可能性

日本トリムの医療分野貢献で顕著な「電解水透析」は、新たな血液透析療法として現在国内317病院が交渉段階にある。これらが契約に至れば現連結売り上げの3分の1ほどになる。今年5月には、中国初の民間企業による日本式病院を、北京市に開院した。「中国には日本の人口に匹敵するほどの糖尿病患者がおり、透析患者の多くが糖尿病に由来する。これは政府(内閣官房 健康医療戦略室)の支援を受け、日本大手商社、中国企業と共に進めるプロジェクトで、中国国内で10病院開設が目標だ。これが実現すれば、現在の事業規模を飛躍的に伸ばす可能性がある。私は整水器販売の起業当時から“日本トリムはメディカルカンパニーだ”と訴求し続け、今実現している。まず一十億企業になることも当初からの目標。言い続けていれば、やがて実現できるはずだ」。

COMPANY INFORMATION

株式会社日本トリム NIHON TRIM CO.,LTD.

【本社】〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-22
ハービス ENT オフィスタワー 22F

【電話】06-6456-4600 (代表)

●設立：1982年

●代表者：代表取締役 森澤紳勝

●社員数：487名 (関連会社などを含む) (18/3)